



10月15日(土) 10:00～12:00

ひらつか市民活動支援センター（定員：100名、先着順）

3月15日、飯館村に放射性物質を含んだ無情の雨が降り注いだ。あれから7ヶ月…。

美しかった田園は荒れ果て、哀しい風景が広がっている。
放射能汚染はどう変化したのか。戻れる日は来るのか。そして、村民たちの避難生活はいつたい…。暮らしの場を奪われた村民の生の声を聞き、この問題を一緒に考えてください。

【予定プログラム】

- ①飯館村の放射能汚染と除洗の課題(飯館村後方支援チーム：小澤 祥司)
- ②村民の避難生活の実態と課題(村民グループ「負けねど飯館！」メンバー：菅野 哲)
- ③湘南地区の市民ができる支援プロジェクトの提案・会場との意見交換

主催： NPO法人エコロジー・アーキスケープ(EAS)
NPO法人ひらつかエネルギーカフェ



この報告会は、日本財団ROADプロジェクト 東北地方太平洋沖地震 災害にかかる支援活動助成の助成金を活用して実施するものです。

ひらつか市民活動センター
平塚市八重咲町3-3 JAビルかながわ2F
(JR平塚駅南口から徒歩2分)